

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年7月2日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	多久市	代表者名	横尾 俊彦
担当者部署	情報課	連絡先電話番号	0952-75-2114
担当者役職	係長	担当者氏名	高崎 和徳
住所	846-8501 佐賀県多久市北多久町大字小侍7番地1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森本 登志男
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	今年度、当市でテレワークを開始予定でいるが、利活用について現場の職員に具体的なイメージがついていなかった。今回講義を受けたことで、実際に利用についてイメージが湧き、積極的な利用への意識改革ができたため。あわせて、導入までに情報担当部署が検討すべき課題等も見つける事が出来た。
アドバイザーへの要望事項	オンラインで全体研修を行ったが、コロナ対策が講じられるようであれば、是非直接、職員にグループワークなどをお願いしたいと感じました。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年6月25日	9時30分	15時00分	90	240
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員(管理職、再任用職員含む)	176人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	テレワーク導入にあたって、どのように使えば良いかノウハウがない、職員のテレワーク導入・活用や自治体DX推進への知識・意識が低い	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	テレワーク導入をスムーズに実施(R3.10月から運用テスト開始)職員が積極的・自発的にテレワークを利活用することができる。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	研修をとおして、テレワーク導入前の課題の明確化、活用の事例を通じた実際の業務改善について指導を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	職員については、受講前はテレワークについて否定的であったが、研修を受けて利活用について積極的な意見が見られるようになった。また、情報担当部署については、導入に向けての課題の明確化が行えた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない ただし、今後の研修計画については打ち合わせ済
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	未解決の問題は特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修について(時間等)とテレワーク・自治体DXについてのアンケートを実施。回答締め切りが7/9の為、結果は後日回答します。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職員が積極的にテレワークを活用し、業務の効率化と業務の継続性確保ができるようになる(多久市職員の10%がテレワーク・モバイルワークを活用している)	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

